

# 「段ボール箱で生ごみ堆肥を作ろう！！」【心の持ちようが、成功の秘訣！！】

～野菜からできた堆肥で野菜を作る “ヤサイクル活動” に参加しませんか？～

## ★ 用意するもの（大・小でも可、基材の量が変わるので気をつけよう！）

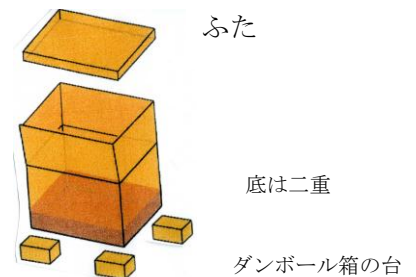
段ボール箱（10キロのみかん箱2箱）・・・1個は本体用、もう1個はふたと2重底用

基材：ピートモスともみ殻くん炭を 6：4に混ぜた物20L程度（箱の容量の2/3程度）

段ボール箱の足（段ボール底の隙間を作る木材・ラップの芯・ミシン糸の芯など）

土を混ぜるためのスコップ、またはゴム手袋

あれば棒状温度計



## ★ 置く場所

雨の当たらない15度以上の所、通気性を考えて壁に密着させない所  
かんかん照りの太陽に当たるのはOKです。

## ★ 毎日の管理と注意

- ・ 温度管理をする。開始後1週間くらいで30度くらいを目安にする。温度を上げるには、（最初は温度は上がりにくい、一つの目安です。）お魚調理をして、はらわたや食べない部分を入れるといいですね。
- ・ 生ごみを入れ、よくかき混ぜる。ほったらかしにしない（生き物とを考えてください）。
- ・ 生ごみ投入量は、20Lで1日500～600g、3ヶ月で45kg程度、投入できます。
- ・ 生ごみが、新しいうちに入れる（腐敗した物は投入しない）。大きいものは小さく切る。
- ・ 臭いが気になる時は（弱ってきた時）、ピートモスや枯葉・廃油・糠（ご馳走）で調整。
- ・ 3ヶ月で基材がべたついたら終了。熟成へ。
- ・ カビ状の物が表面に出る時もありますが、頑張っている証拠ですので（混ぜなかった時など）しっかり混ぜてください。虫が発生した時も同じです。失敗はないです。



★ 投入しない方がいいもの・・・余分な水分を取って投入する（そのものの持っている水分量がベスト）。  
分解しにくいもの・・・とうもろこしの芯・蟹の殻、防腐剤のついたものや、腐ったもの、塩分の強いもの 等

## ★ カビや虫がわいたら

温度を上げる・・・糠・きな粉・使ったてんぷら油・魚類を入れると分解が早くなり温度が上がる。

十分に（毎日数回）かき混ぜると発生しにくくなる。カビは好気性菌で無害です。（失敗ではありません）

## ★ 臭いについて

山の土や腐葉土、軽いカビ臭がある。かき混ぜ方が足りないとき、酸素が不足し臭いが出る事がある。

## ★ 留守にする時（気性菌・混ぜればいいです）

よくかき混ぜておき、出来るだけ涼しい所におきます。再び始めるときは暖かい所におき、よくかき混ぜる。

## ★ 3ヶ月たったら

引き続き10日位、毎日かき混ぜる。その後、雨のかからない所で、1～2ヶ月寝かせれば、堆肥として畑やプランターで使えます。

混ぜるときの土と堆肥の割合は、土（2）：堆肥（1）ぐらいが目安です。



☆この資料は環境カウンセラー黒谷静佳氏の資料をもとに作成しています☆

## 気をつけるポイント よくある質問

### Q 入れてはいけないものは？

◎分解できないもの

とうもろこしの芯・梅干や果物の固い種・貝殻・肉の骨  
防腐剤がついた果実の皮（お湯で洗い流せばOK）

◎堆肥に向かないもの

塩分を大量に含むもの（漬物・塩辛など）

◎分解に時間がかかるもの

たまねぎの皮・すいかやメロンの皮  
（小さく切ればOK）

可燃ごみが減って  
楽しいよ(^)v

【おすすめの時期】

4～11月くらい

### Q 生ごみ500gって、どのくらい？

3～4人家族の一日に出る生ごみの量が500gくらいと  
言われています。

#### 重さの参考

バナナ1本分の皮 約50g

リンゴ1個の芯と皮 約100g みかん（直径7cm）約100g

ご飯お茶碗一杯 約100g 新聞紙夕刊1日分（12ページ）約60g



### Q 中の温度はどのくらいになるの？

温度は、40℃くらいが適温です。温度が上がらない場合は、使用済みの油やきなこを100g  
くらい入れると、温度が上がり分解が早まります。油炒めをした後のなべに水をいれ、その水を  
いれても効果があります。

### Q 気温が15℃以下の時は分解できない？

分解はしますが、温度が低いと微生物が活発に動かないので遅くなります。なるべく台所など  
温かい場所に置いてください。

室内に置けない場合は、生ごみの量を減らすか、もうひとつ基材を用意してください。冬は、  
虫の心配は少ないので、分解しなければ入れたままにしておいて大丈夫です。

### Q においはしないの？

炭に脱臭効果がありますので、生ごみの臭いを吸収してくれ、においはきになりません。ただ  
し、魚のあらを大量に入れたり、生ごみを一度に大量に入れると湿った土のにおいやかびのにお  
いがしますので、注意してください。

においが気になる場合は、ピートモスを足して風通しの良い場所に置き、においがおさまっ  
たら元の場所に置きましょう。

### Q 虫・カビは発生しないの？

よくかき混ぜ、布等をかぶせていけば虫の発生はほとんどありませんが腐ったものを入れると  
虫が発生する原因になります。

虫が発生してしまったら、油を多めに入れる（100ml）か米ぬかを入れると温度が高くなり、  
虫が死んでしまいます。さらに、ビニール袋で包み密閉させてしまうと効果的です。虫がいなく  
なったら元に戻しましょう。白カビは無害ですので、かき混ぜれば問題ありません。

エコネットにしわきでは、生ごみ段ボールコンポスト推進活動をしています。

《エコネットにしわき 事務局》

西脇市役所 暮らし安心部環境課内

TEL 22-3111 内線 391